

2025 年度事業計画

前期方針を参考として 2025 年度の事業計画を下記の通り設定した。

1. 委員会活動の充実
2. 教育研修を目的とする諸活動の充実
3. Regulatory Science への寄与
4. 本部との連携強化と活動への積極参加
5. 新規事業の創出

委員会活動の充実については委員会活動をさらに活発化させるために、委員長会議の場で、現在の委員会活動におけるテーマや内容について御調査、御協議をいただき、新たなテーマ設定や新規委員会の立ちあげの可否などについての御提言をいただく。また、各委員会に共通するテーマの抽出をお願いし、新たな委員会活動の参考としていく。教育研修を目的とする諸活動の充実については、RS 財団との共同開催を継続するとともに、本部との連携も図りながらテクニカルレポートの積極的翻訳等の新規テーマの創出を図っていく。

本部との連携強化と活動への積極参加についても 2025 年度も積極的に実施していく。以上、来年度の事業計画に基づく具体的な事業としては以下を計画している。

委員会名	行事名 (仮)	開催時期
関西勉強会	「非無菌製剤製造所の監査・査察に関する研究」 出版記念講演会	3 月～4 月
開発 QA 委員会	研究発表会	時期未定
無菌製品 GMP 委員会	2023 年度無菌医薬品 GMP 研修講座 (RS 財団との共催)	5 月
	PIC/S GMP Annex1 ワークショップ	6/7/11/12 月
	第 2 回無菌シンポジウム	11 月 (予定)
	注射剤不溶性異物目視検査認定監督者及び検査員 育成コースの紹介	3～4 月 2 回
原薬 GMP 委員会	医薬品(原薬)GMP 研修講座 (RS 財団との共催)	8 月
メディカルデバイス 委員会	プレフィルドシリンジセミナー2025 東京	9 月
北陸勉強会	第 15 回富山県 GMP 講演会	11 月
年会委員会	第 32 回年会	11～12 月
本部共催	PDA 細胞及び遺伝子医薬討論会 2025	11 月

無菌製品 GMP 委員会		
--------------	--	--

新規事業としての「標準異物アンプルセットを用いた検査法確立」について、実施に向けての説明会、参加希望企業の募集等を実施予定である